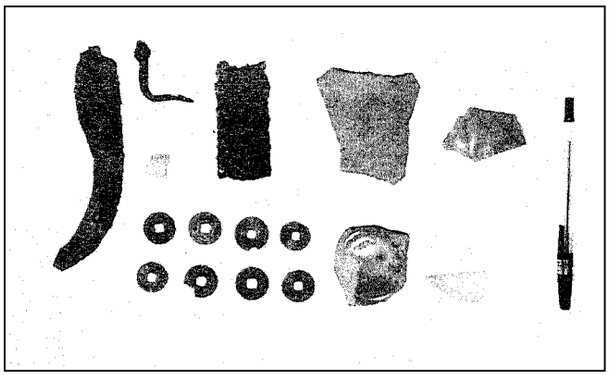
ふるさとの文化財散歩

市指定有形文化財第三十三号 三ノ側遺跡出土品

三ノ側遺跡はファミリコ都留タウンの建設に伴なって昭和五十六年三月二〇日から五月二十六日まで調査発掘された遺跡です。その結果、奈良・平安時代の住居跡五軒が発見され、それに伴って日本最古の鋳造通貨の和同開珎・富寿神宝（八～九世紀の通貨）や朝鮮の貨幣の祥符元宝・天喜通宝など（十一世紀の通貨）の他、糸を紡ぐのに用いられた鉄製の紡垂車、クサビ、小刀のようなものや、青銅で作られた小さな壺も出土しました。

また、小形山の堀之内原遺跡の『本』とは書体などのタイプが異なるものの『長』と書かれた墨書土器の他、朝鮮からの輸入された青磁・白磁・青白滋の陶磁器片がまとまって発見されました。

このように都留市内で陶磁器片が発見されたのは皆無で多分、その当時かなり有力な豪族がこの地にいたものと、研究者により推定されています。



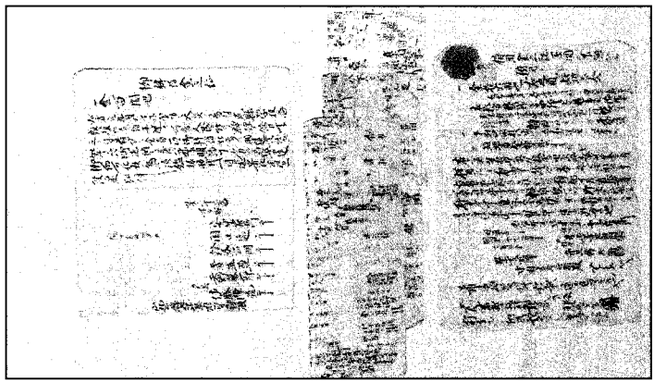
市指定有形文化財第四十四号 旧尾県学校関係文書三通

旧尾県学校は、一八七四（明治七年）に建設が始められ、途中、天災に見舞われるなど、幾多の困難を解決し、一八七八（明治十一年）五月五日に開校式が行われた学校で、県の文化財として指定されている貴重な建物です。

この建物は今の知事にあたる当時の県令藤村紫朗が奨励した擬洋風建物で、県令の名にちなんで「藤村式建築物」と呼ばれ、県内で数多く建設されましたが、現在、県内で現存するものは、甲府市の藤村記念館・増穂町の旧春米学校・牧丘町の旧室伏小学校、最近復元された須玉町の旧津金小学校と、この旧尾県学校の五校となってしまいました。

この尾県学校建設関係の文書は一九四一（昭和十六年）に廃校になった折、統合先の禾生第一小学校に移されましたが、昭和二十一年三月十六日の不慮の火災により、それらが校舎とともに消失してしまいました。

かろうじて地元に残されていた、これらの文書の内、特に「学校人足記」、「請負之証」、「御拝借金の証」を当時の建設のようすを裏付け、伺い知る貴重な資料として、館内に展示されています。



ふるさとの秋の景色を 山の上から眺めてみませんか

高川山登山会実施

十月六日に計画した高川山登山会が、たびかさなる雨天のため、延期となっていましたが、天候の安定するこの時期に再度計画しました。

深まりゆく山のようすを感じながら登り、山の上から眺めるふるさとの景色もまた、さらに美しいものです。

指導員もいますので、安心してご参加いただけるものと思います。ご一緒に登ってみませんか。

日　時　11月24日（日）
※午前8時30分尾県郷土資料館集合・午後3時解散予定です。（雨天の場合12月1日に延期）
昼食・水筒・雨具・保険代（百円）を持参してください。
締切日　11月19日（火）
申込・問合先
尾県郷土資料館
☎（45）0675
（火・木・土・日・祝日
午前10時～午後4時）
市教育委員会社会教育課

おおきな夢を絵にしよう

未来の科学の夢絵画展

作・品・募・集

あなたの未来の夢を自由に描いてみませんか。発明協会では全国のお友だちに呼びかけています。

優秀な作品は、来年四月に開催の全国展に展示される他、文部・通産大臣・科学技術庁・特許庁長官賞などが用意されています。

主　催　社団法人発明協会
応募資格　小・中学校児童生徒
画　材　自由　用紙は画用紙B3または四ツ切り
応募先　都留少年少女発明クラブ（市教育委員会内）

※締め切りは十二月二十五日（水）で応募は一人一点です。

ふるさとの祭

11月
一日～四日　桂川祭（都留文科大学）
二日～四日　文化祭（文化会館他）
三日　農業祭り（都留市農協）
グラススキー大会（サンパーク都留）
二十五日　天神講（市内各地）
十二月一日　高尾山例祭（高尾町）